

国際認証制度（CITP）を活用した プロフェッショナルIT人材育成の試み

2020年2月7日

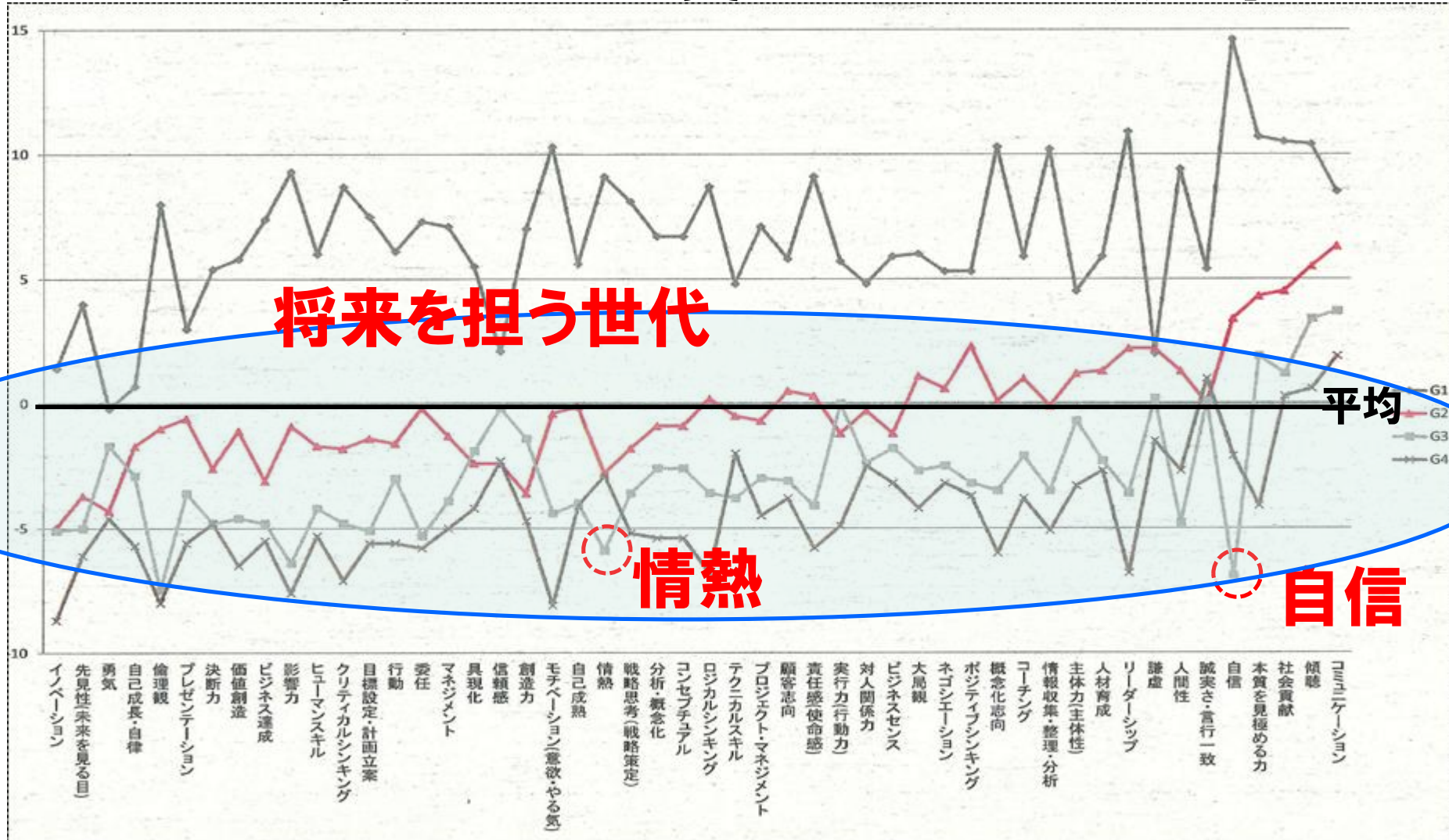
認定番号 14000013

（株）中電シーティーアイ

取締役 松田 信之

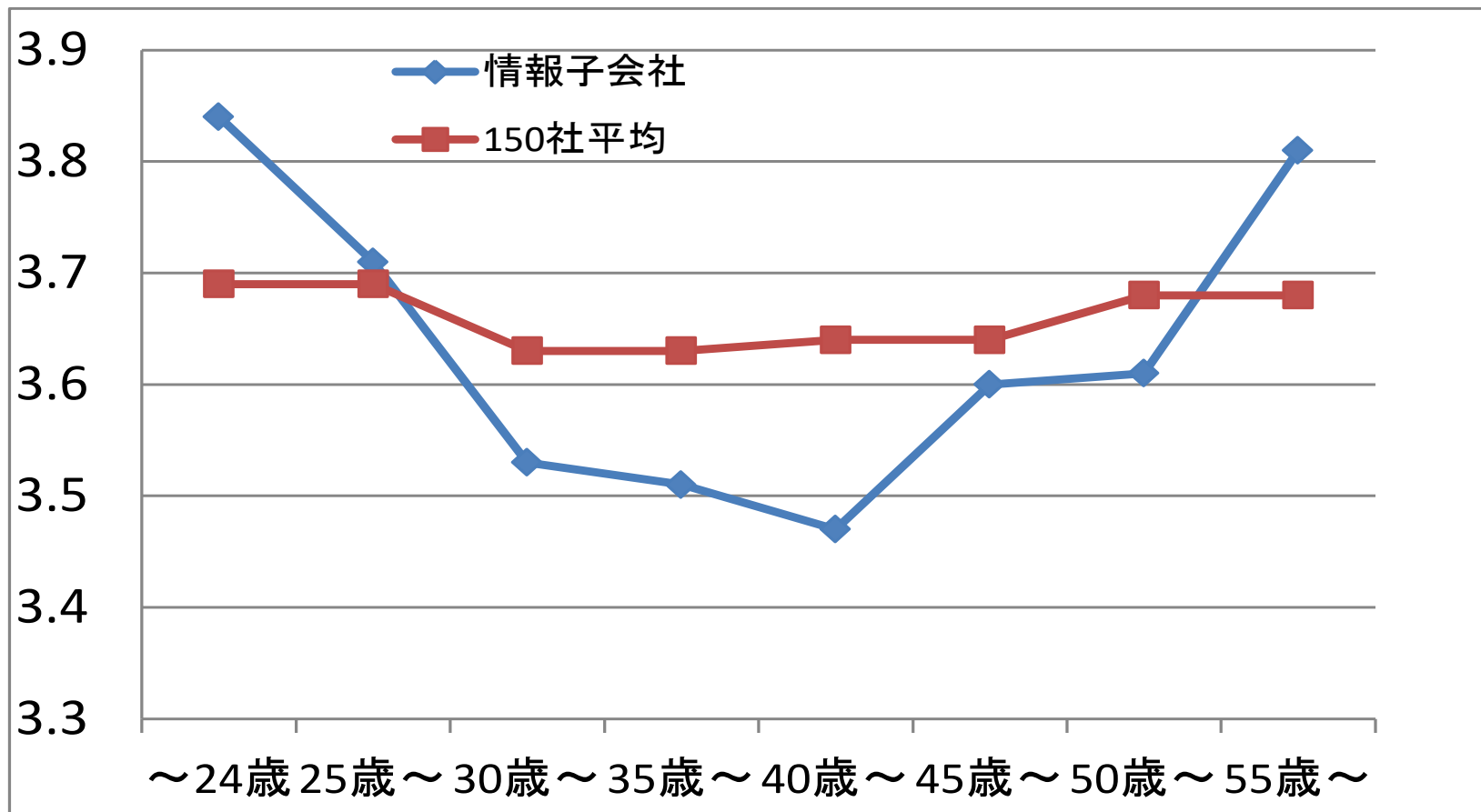
当社の課題

30代社員の満足度や向上意欲が低い



当社の課題

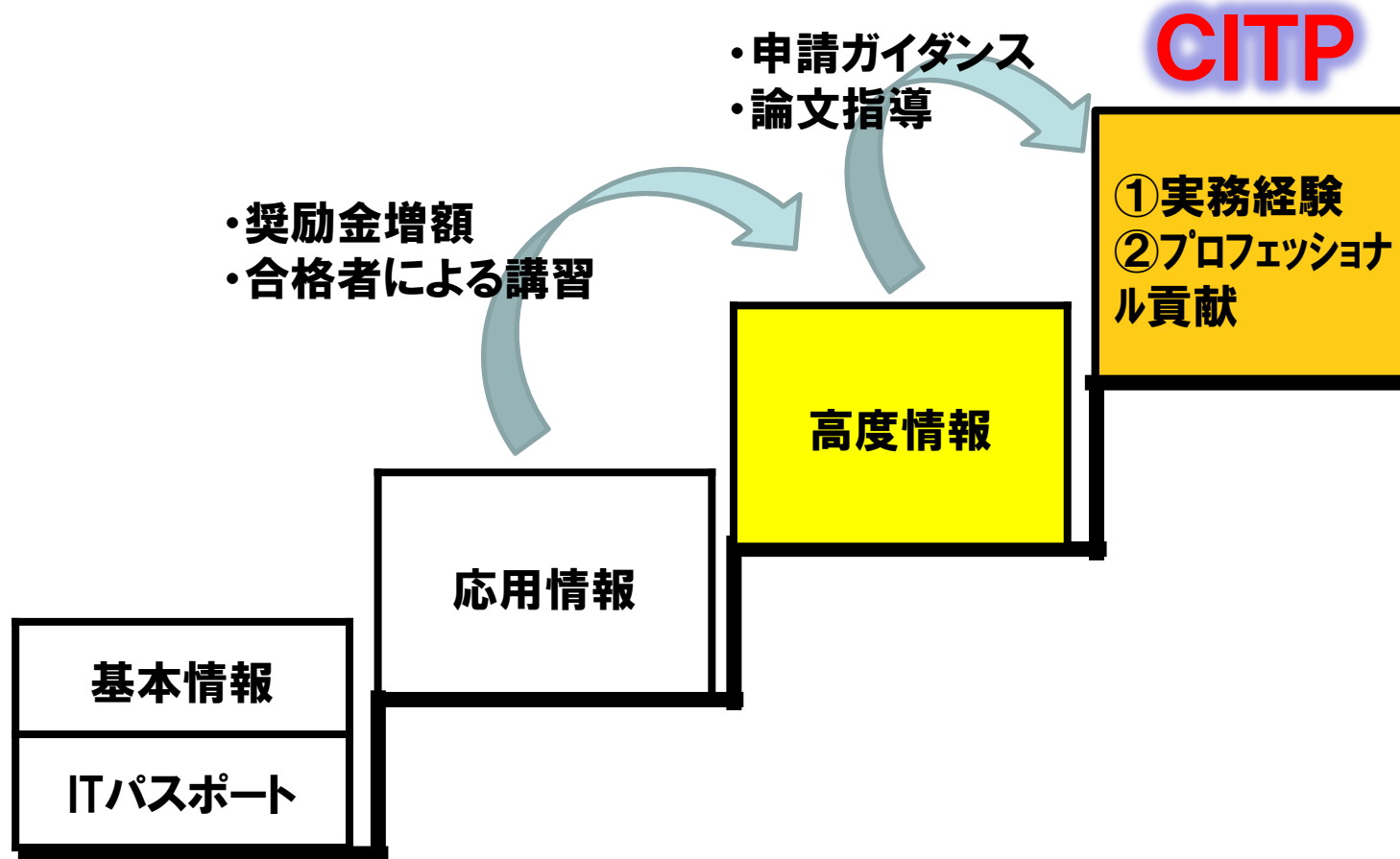
【低いモチベーション】



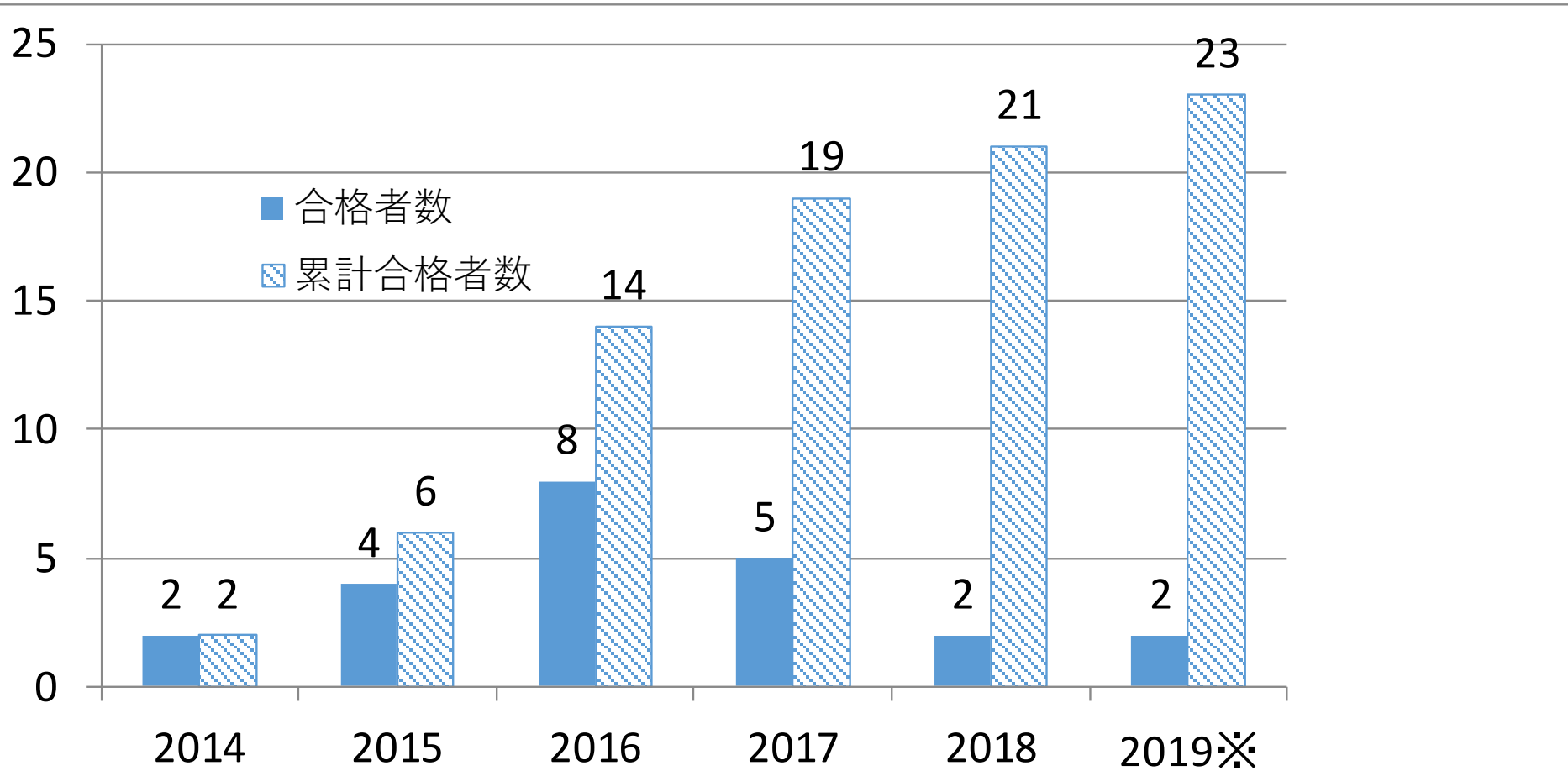
学ぶ意欲の高い人材に
光を当て、学びを徹底支援

CITPを活用した モチベーションを向上させる仕組み

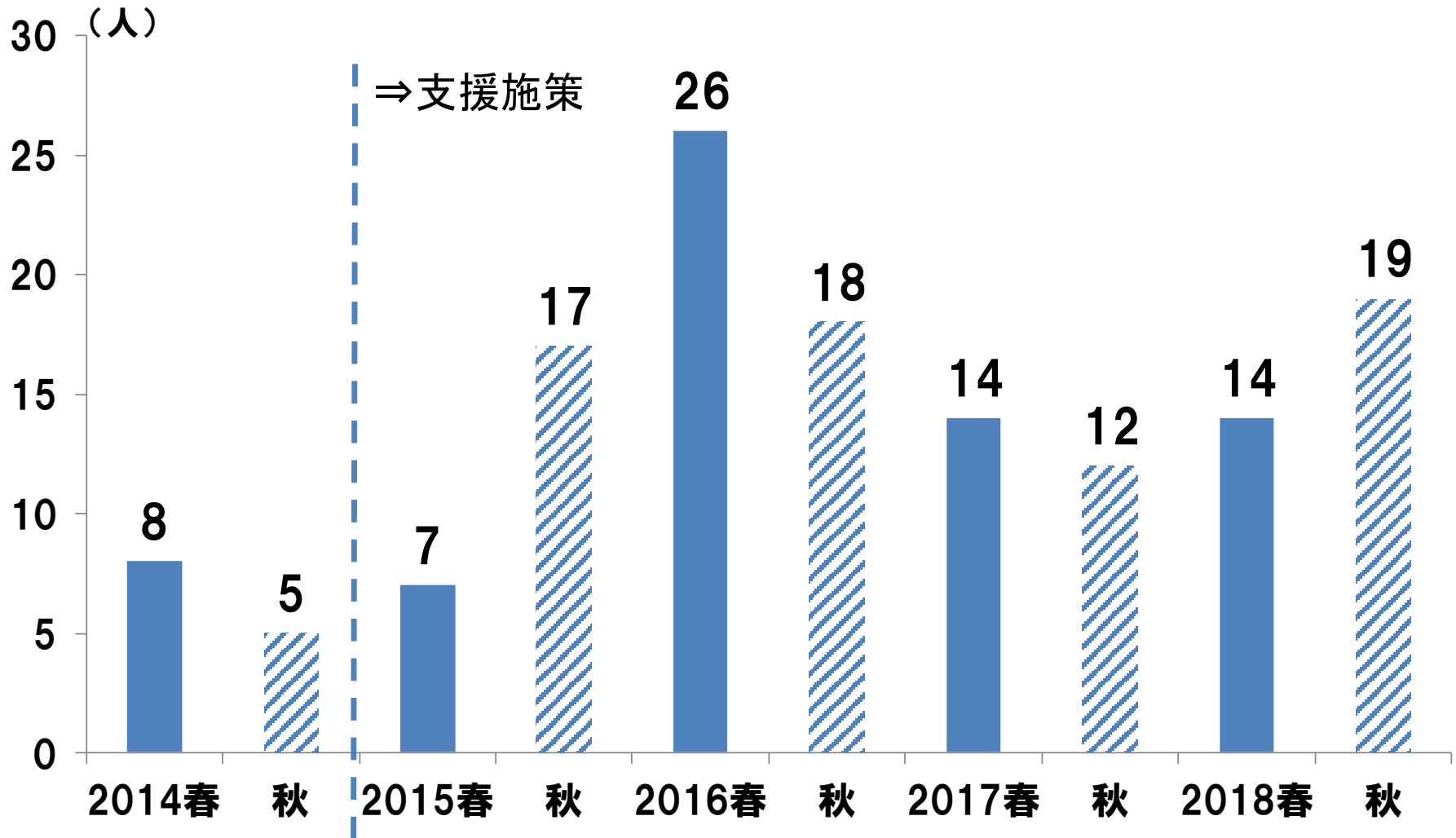
- ・申請料、認定手数料負担
(認証後)
- ・コミュニティ活動費負担



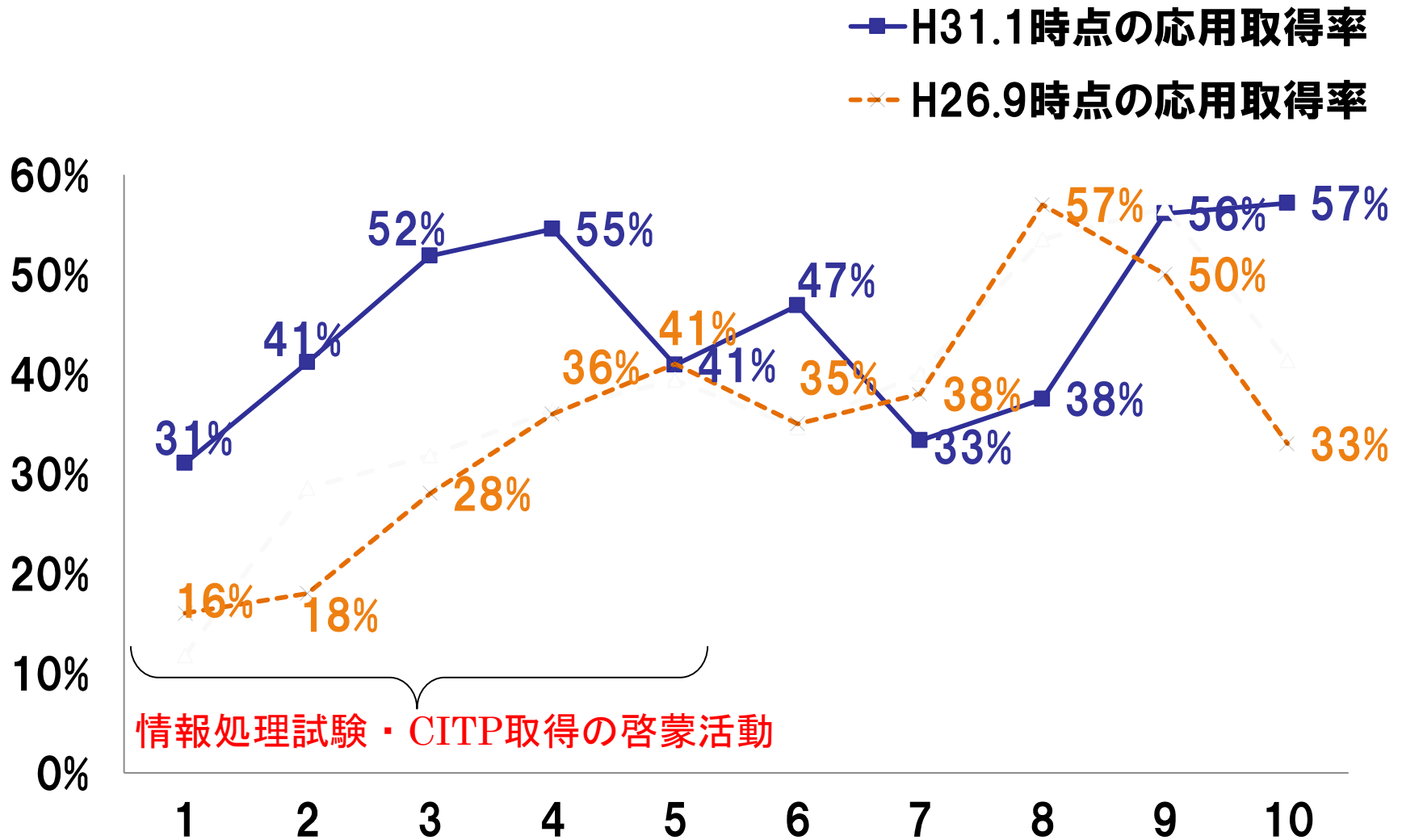
CITP認定者数



高度情報処理試験取得者

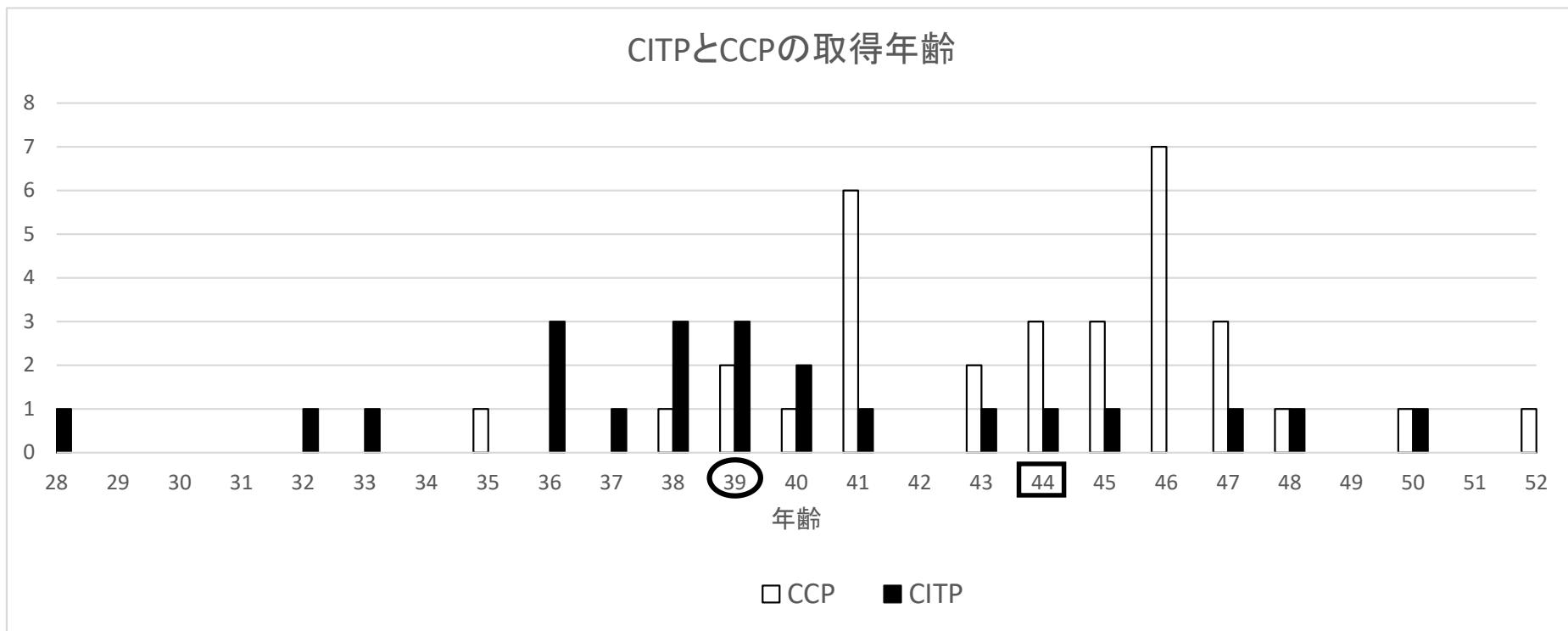


情報処理試験取得者



高度認定取得年齢の若返

- ・取得時平均年齢 CITP39歳 CCP44歳(▲5歳)
- ・平均年齢もCITP 41歳, CCP49歳(▲8歳)
- ・CITPは20歳代の認証者も生まれている



論文と学会発表

年度	論文名	発表学会等
2016	CITP制度を活用した高度IT人材の育成 ～超スマート社会を支える実践的技術者 育成～	ソフトウェアジャパン2017 情報処理学会第79回全国大会, FIT2017, JUASアドバンスド研究会 2017
	日本を元気にする攻めのIT -組み合わ せ型のビジネス課題解決-	ソフトウェアジャパン2017 JUASアドバンスド研究会2017
2017	中国のインターネット事情 ～ キャッシュレ ス化がもたらす超スマート社会 ～	ソフトウェアジャパン2018 JUASアドバンスド研究会2018
	小学校プログラミング教育への考察 ～夏 休みの宿題で感じたこと～	ソフトウェアジャパン2018 JUASアドバンスド研究会2018
	パブリッククラウドの本格利用に伴うネッ トワークの課題と対策	JUASアドバンスド研究会2018
	ITSS レベル判定からの脱却 ～iCD と PBL を活用したIT 技術者育成体系の再 構築～	FIT2018
2018	プロジェクト成功のためのチームビルディ ングと動機づけのすすめ	ソフトウェアジャパン2019 JUASアドバンスド研究会2019

論文誌



学会発表



社内コミュニティ活動

No.	開催日	講義テーマ
1	2016年6月15日(水)	過去解析業務の事例紹介
2	2016年7月29日(金)	マーケティング入門
3	2016年9月28日(水)	PM実践:コミュニケーションについて考える
4	2016年11月15日(火)	ドローンの機能理解、今後の活用についての研究
5	2017年1月30日(月)	ソフトウエアジャパン2107・CITPフォーラム講演内容(予定)の紹介
6	2017年3月15日(水)	情報セキュリティ技術の最新動向研究
7	2017年4月24日(月)	メンタリングとは
8	2017年5月24日(水)	中電クラウドの取り組み状況について
9	2017年6月21日(水)	介護用ロボットの現状
10	2017年7月18日(火)	中国のインターネット事情/当社スマホアプリ開発事例
11	2017年9月25日(月)	サイバー犯罪について
12	2017年10月26日(木)	ネットワークトラブル事例について
13	2017年11月21日(火)	ストレージ技術/小学校プログラミング教育についての考察
14	2018年2月6日(火)	ITエンジニアの将来について～10年後ビジョンの考察
15	2018年4月19日(木)	CITP更新手続きについて/CPD登録システムの紹介
16	2018年5月24日(木)	オペレータ業務と拠点間コミュニケーション
17	2018年6月21日(木)	ISPIにおける高可用性サーバの紹介とサイトブロッキングの現状について
18	2018年7月26日(木)	IT海外トレンドと日本
19	2018年9月18日(火)	インターネットが何であるかを知るネットワーク技術者教育
20	2018年10月23日(火)	深層学習による画像認識技術とロボット応用
21	2019年2月21日(木)	シングルボードコンピュータを使った個人用サーバーの構築
		新米PMのプロジェクト体験
22	2019年4月23日(火)	情報銀行
23	2019年5月16日(木)	ITコンサルタントの仕事とは? ～マインドセットの重要性～
24	2019年6月20日(木)	失敗学入門
25	2019年7月26日(金)	キャンパスベンチャーグランプリ

社内コミュニティ活動

情報技術分野の第一人者による講演とディスカッション

今こそエンジニア魂を熱く語れ！

知的刺激にあふれた 120 分

シーティーアイ

白熱教室

定員
各回 30 名
先着順

Day 1 **9. 18** [火] 16:00-20:00 開場 15:30

インターネットが何であるかを知るネットワーク技術者教育

Day 2 **10. 23** [火] 16:00-20:00 開場 15:30

深層学習による画像認識の仕組み -成功事例と失敗事例

場所 東桜第一ビル 5階会議室



社内コミュニティ活動

情報技術分野の第一人者による講演とディスカッション

日時	内容	参加者数
2018年9月	中京大学 工学部教授 / (株)リフレクション CTO 鈴木 常彦氏 「インターネットが何であるかを知るネットワーク技術者教育」	21名
2018年10月	中部大学 工学部ロボット理工学科教授 藤吉 弘亘氏 「深層学習による画像認識の仕組み - 成功事例と失敗事例」	25名
2019年5月	ITコンサルタントとの仕事とは～マインドセットの重要性～ PwCコンサルティング合同会社 立川真一	40名
2019年10月	JX金属株式会社 正木 信治 (株)ハイマックス 土屋俊樹 「ワールドカフェを用いたデザイン思考ワークショップ」	25名

CITP コミュニティが新体制でスタート チェアマンとバイスチェアマンが抱負を語ります

人財開発室

CITP コミュニティとは

当社のCITPを中心とする、技術者のためのコミュニティ活動です。ここでは、「知見の共有」、「最先端の技術動向や斬新な発想の吸収」、「後進の育成」などを目的として、技術者が部署・業務内容の違いを超え、技術情報の共有や意見交換のため、次のような活動を行っています。

●情報技術分野の第一人者によるセミナー ●CITPによる講義やライトニングトーク ●メンバーによるディスカッション など

CITPコミュニティには、CITPおよびCITPが推薦する当社社員（自薦・他薦を問わず）がメンバーとして参加できます。

4月から新体制がスタート

CITPコミュニティの活動強化を目指して、コミュニティの代表者であるチェアマンとバイスチェアマンを新しく選任しました。

チェアマン

加藤 淳也さん
(IT サービスセンター)

バイス
チェアマン

赤塚 正芳さん
(品質保証部)
宮下 修さん
(プラットフォームセンター)



(左から) 宮下さん、加藤さん、赤塚さん

チェアマン/バイスチェアマンからのメッセージ

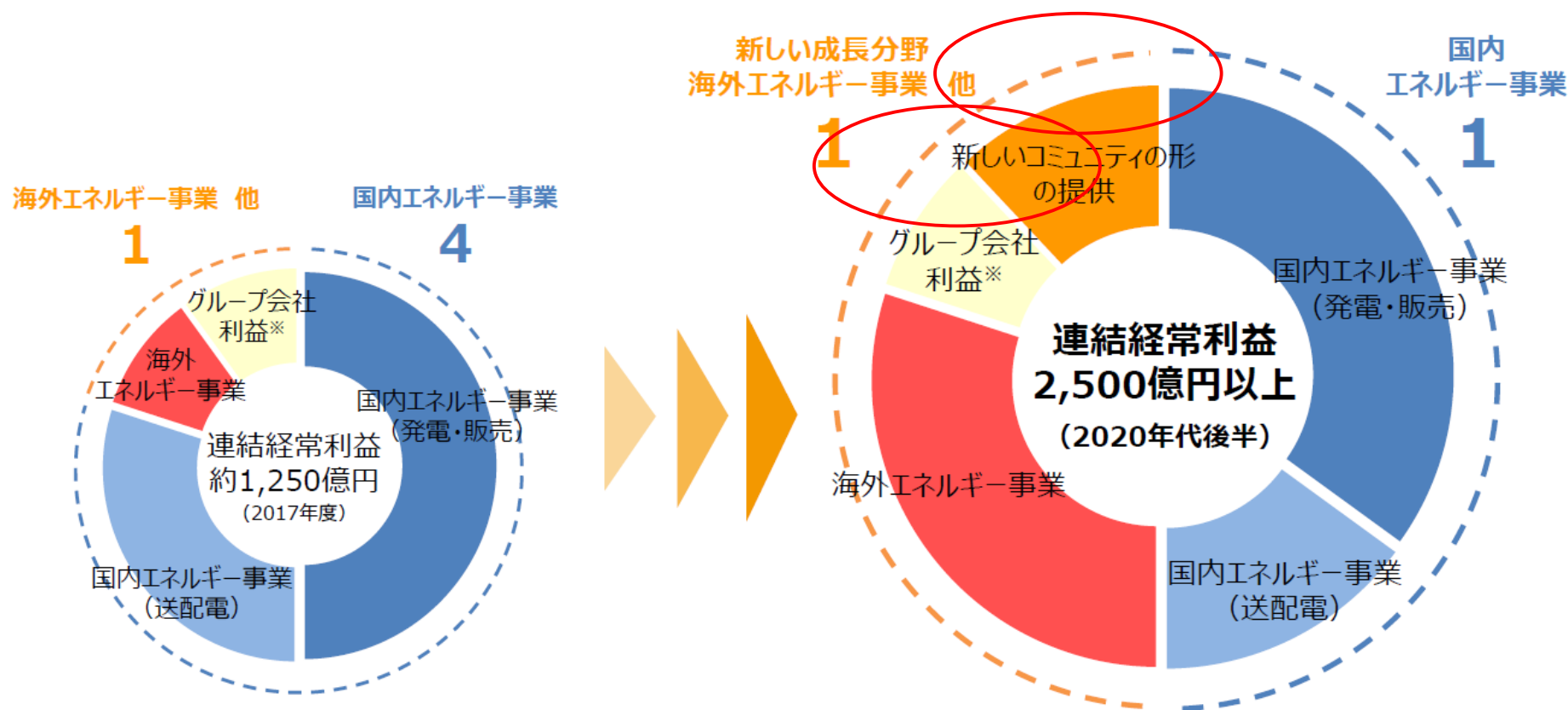
CITP コミュニティは、業務の枠にとらわれない高度で興味深い発表や報告が満載ですので、是非皆さんも CITP を取得して参加してください。私は、楽しく有意義なコミュニティ運営を目指します。
(加藤 淳也さん)

CITP は知識だけでなく実務経験が必要な資格です。CITP が有意義な経験を積んでいけるような運営を、私自身も楽しみながら進めていきたいと思います。
(赤塚 正芳さん)

CITP には、自らの資質（技術力や応用能力）向上や、プロフェッショナル貢献（成果の発信など）活動を継続的に実施することが求められます。CITP の活動をサポートしつつ、自ら楽しんで運営していきます！
(宮下 修さん)

中部電力グループ 経営ビジョン

中電グループ売上



事業創造本部の設置について

2018年12月18日
中部電力株式会社

当社は、成長戦略の実現に向けた新規事業に対する取り組みを強化するため、2019年4月1日付で事業創造本部を設置することとしましたので、お知らせいたします。

当社は、2018年4月に事業戦略室を設置し、従来の事業領域の枠を越えた新たなサービスやビジネスの成長戦略について立案・推進してまいりました。

今回設置する事業創造本部には、**事業戦略室、ICT戦略室およびグループ会社の株式会社中電シーティーアイのICT事業開発に関する機能を統合します。**

これにより、AI、IoT等の先端技術を活用した新規事業を迅速に開発し、お客さまや社会のニーズに沿ったサービスを早期に提供していく体制を整えることで、成長戦略を実現してまいります。

中電事業創造本部への出向



「場」と「場」をつなぎあわせ 一步を踏み出すきっかけを作る

長久手市民の方が抱えている課題は、人とのつながりによって解決できるものも多いと感じました。これまでも、そのような場は、行政や市民団体によってすでに数多く用意されていたのですが、実は広く市民に届いていなかったことが今回わかりました。そこで、メンバーのアイデアにより、「場」と「場」をつなぎあわせ、地域全体に広げることができないかと考えたことが、このアプリ開発につながりました。

実は私自身も長久手市民ですが、この活動に参加するまでは、さまざまな場があることを知りませんでした。実際に参加してみると、地域の魅力の再発見や、地域を愛する仲間との出会いに感動しました。また、地域に入り込み肌で感じなければ、地域の課題の本質は

つかめないということも痛感しました。今もライフワークとして、イベントに参加しています。地域を知ることで得た喜びや感動を、多くの市民の方にも感じていただきたいと思います。開発中のアプリが、一人でも多くの方の一步を踏み出すきっかけとなればと思っています。



事業創造本部
久保 壮一郎 さん(中電シーティーアイからの出向)

お父さんお母さんと一緒に参加してくださった子どもたちもプロジェクト成功の立役者。「皆さん、交代でお子さんをあやしながら議論が進み、まるで子育ての現場を体験しているかのようでした」と荒木さん。



事業創造本部 荒木 岳文 さん
(中電シーティーアイからの出向)

経済産業省がついに行政のデジタル化に着手 推進の裏に“前例のない”中途人材の活用



プロフェッショナル人材が感じたプロジェクトの意義



経済産業省
商務情報政策局 総務課
情報プロジェクト室
宮部 麻里子氏

こうして採用されたデジタル化推進プロダクトマネージャーの1人が、ユーザー系IT企業でインフラの構築や保守、認証系システムなどの構築に携わってきた宮部 麻里子氏。もう1人が、大手ITベンダーで官公庁のシステム開発にかかわり、情報システム部門の支援として複数ベンダーのシステム開発プロジェクトを取りまとめた経験もある林 大輔氏だ。

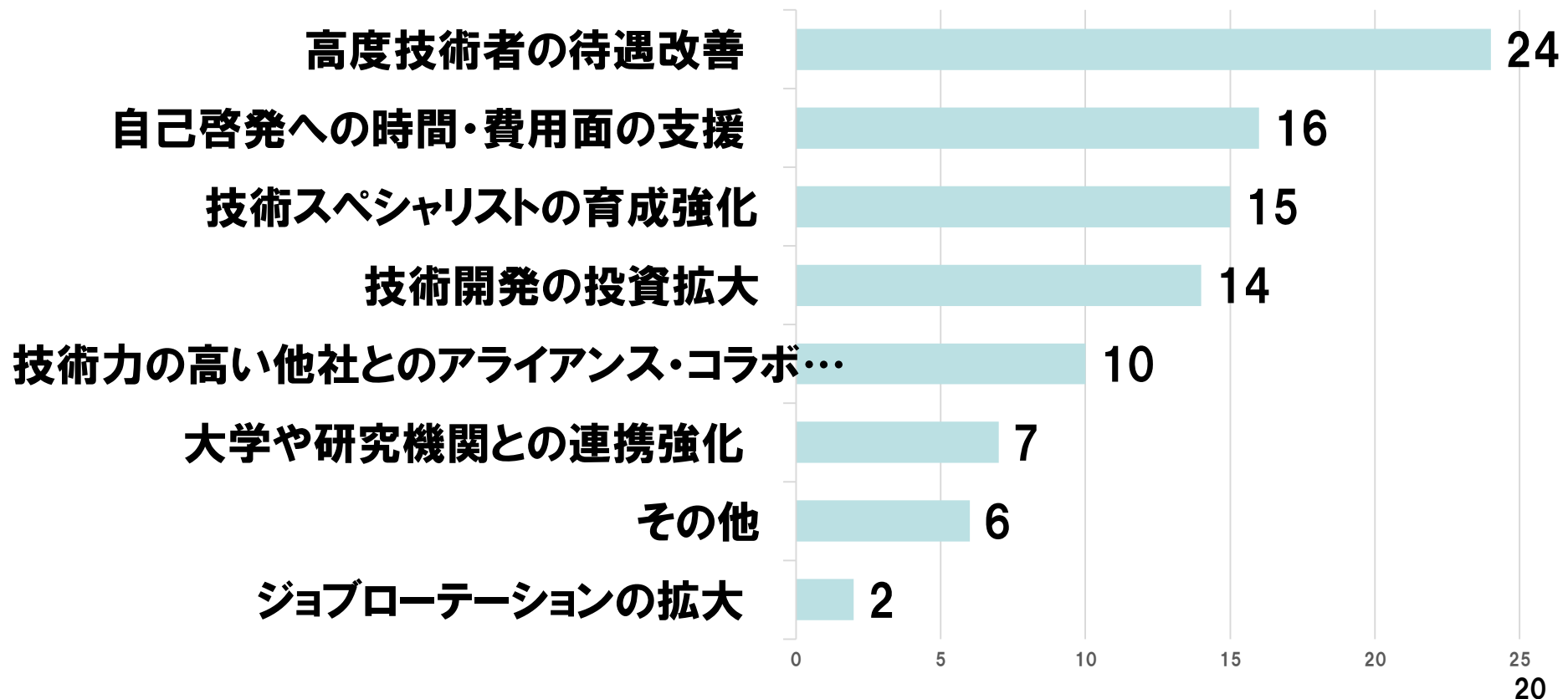
「行政手続の変革という事業に使命感を覚えたのが応募の動機です。また、ビズリーチでプロジェクトに参画する方々の想いを知り、その内容から仕事のイメージが湧いたことが応募を後押ししました。現在は、『補助金申請システム』の構築に従事しています。少人数で大規模なプロジェクトを動かしており、民間企業よりもスピード感を持って開発が進められていることに、驚くと同時に大きなやりがいを感じています」（宮部氏）

「私も省庁のDXという社会的ミッションに魅力を感じて応募しました。ITベンダーで官公庁のシステム開発を経験する中で、日本社会を支えている中小企業へより直接的に貢献できる仕事をしたいという思いがあり、その希望に沿う形で中小企業庁のデジタル化推進に携わる業務を任されています」（林氏）

過去のシステム構築はIT知識がない行政官が直接ベンダーと話す形で行われてきたが、現在

高度IT技術者のリテンション

高度技術者候補者の意識調査



デジタルプラクティスにCITPの論文が掲載されました

- デジタルプラクティス Vol.11 No.1 (Jan. 2019)

- 特集「DX時代のスキル標準と人材育成」

<https://www.ipsj.or.jp/dp/contents/publication/41/S1101-index.html>

国際認証制度(CITP)を活用した

プロフェッショナルIT人材育成の試み

中電シーティーアイ 伊藤秀行, 松田信之